



NPO法人阿寒観光協会
まちづくり推進機構
理事長

松岡 尚幸
MATSUKA HIROYUKI

豊

かな自然に囲まれた森と湖のフィールド、阿寒は未来に引き継ぐべき大自然として1934年に国内2番目、北海道では最初に国立公園に指定されました。

総面積約9万ヘクタールの広大な公園には阿寒湖をはじめ屈斜路湖、摩周湖があり、阿寒湖周辺には特別天然記念物に指定されている「阿寒湖のマリモ」、湿原には「タンチョウ」が生息し、他にも多くの希少な生き物たちと共存しております。

また、阿寒湖畔には日本最大のアイヌコタン（集落）があ

り、自然を神（カムイ）として尊ぶ独特の生活文化を現在に伝えております。

こうした中において、鶴雅グループ様は1955年、阿寒グランドホテルとしての創業から70年にわたり、美しい水の神が守る森と大地。この大自然から学び、先人への感謝と尊敬の心を大切にする。私たちはこの特別な場所に生まれ、育てられたこと。この地の歴史と文化と支援人と自然に対する尊敬の念を忘れたことがない。という「鶴雅ブランドを支える社内理念」に感銘とともに常々勇気をいただいております。

今、まさに世の中の価値観や充足感などが多様化する中、阿寒湖温泉においても様々な顧客満足を提供できる環境作りが求められています。

国立公園満喫プロジェクトの精神である「観光と自然保護」が必要不可欠であり、新たな観点からの「アドベンチャートラベル」が求められています。

「アクティビティ」「自然」「異文化体験」これらをすべて体験できる阿寒湖の魅力がサステナビリティや旅を通じた地域貢献を重要視する層からも支持されています。

未来に向かいこれら阿寒湖

の魅力発信や地域経済の大きな支えとなる「トップリーダー」としての鶴雅グループ様のお力は益々、顕著であります。

結びになりますが、鶴雅グループ様の益々のご発展と大西雅之代表をはじめ関係皆様のご健勝を衷心より御祈願し、70周年のお祝いいたします。誠に改めてありがとうございます。